

なんだ・かんだ

◆ 採用 ◆

昨年来当社の社員の顔ぶれが相当変わってきました。昨年の3月から当社を退職した方は6名(平均年齢は61歳)で退職前の全従業員平均年齢48歳。そして、1年後の現在パートを含め新たに入社したのは、来月入社予定の1名を加えて、6名(平均年齢は28.6歳)。全従業員平均43歳と5歳若返りましたがまだ高い状態です。

10年程前、新卒の社員をしばらく採用はせずに中途採用にだけ頼っていました。応募者面接をすることでどうしても年齢の高い人の方が能力も高く落ち着いているのでついつい採用してしまっていました。更に60歳定年後の継続雇用が法制化するに至り、当然平均年齢は更に上昇し、10年前の時点で20代の社員が一人もいずに、最年少が30代半ばと超高齢化の状態に陥っていました。非常事態でした。

新卒の採用は、昔の様にリクルートブックに掲載して、地元の新聞社や商工会議所が主催する合同の就職説明会へブース出展すれば学生さんが来てくれるというようなものではなく、基本はネット募集。何をどうやれば良いのかわからない状態でした。

そこで一念発起し、今は亡き当時新進気鋭のスタートアップ企業であった新卒採用専門コンサルタント会社に、うん百万円という大枚をはたき、更にネット募集サイトにこれまたうん百万円を更に……。当社としては清水の舞台から飛び降りる思いで、合計1カ月の給与支払い相当の投資をして新卒採用にチャレンジしました。

結果は無事1名採用。現在営業のエースとして活躍してくれています。しかしこの時、複数名へ内定を出したのですが、内定辞退があり結果的には採用できましたが、一つ間違えば、清水の舞台の下で起き上がれない状態になっていたかもしれません。

以来、1年から2年おきに新卒採用をしてきましたが、初年度の経験からコンサルは使わないで、最も効果のあるネット求人媒体のみを利用し採用をしてきました。しかし合同説明会へ来る学生さんの数も年々減り続け、なんとか採用はできるものの、質と量の低下は厳しいものがあり、ここ数年は採用を控えていました。

そこへ来ての大量退職です。いつかはスキルの高いベテランが退職していく時が来るのは分かっていたし、その為の新卒採用でしたが、中小企業は余剰に人を抱えることが出来ません。辞める人の代わりを都合よく準備はできずに、結局中途採用の対処療法となっていました。

今は空前の売り手市場。今回は縁あって新卒を1名採用できましたが、他はすべて中途採用です。何人面接をしたか分かりません。採用を決めても、翌日「他が決まりました」と断られたり、入社して1カ月で辞めてしまったりと悪戦苦闘の連続でした。経営者仲間の集まりに出ると、皆異口同音に「人が採れない」と嘆いています。

まだ建設部の工事管理をする人を募集していますが、この職種の人材が今一番厳しい様でなかなか応募がありません。まだまだ売り手市場の採用状況は続くようですが、「企業の成長は人にあり」焦って問題のある人を採るようなことが無いように、気長に根気強く待つことにしています。



■ アスファルト補修材「マットペープ」 ■

自社の敷地内のアスファルト舗装が、経年劣化でひび割れが目立ってきたり、一部穴が開いて下の砂利が出てしまっているというような事はありませんか。

このような状態になると、劣化してきた場所からどんどんアスファルトがめくれ劣化が急激に広がります。治したいけれど、全部を治すには費用がかさみます。そこで、バンドエイドの様に、悪くなった場所だけに上からアスファルトのシートを貼り安価に延命。余裕のある時に全面改修をしてはいかがでしょうか。詳細は当社営業マンにお尋ねください。

お口チャックをお願いします

5月の20日過ぎは二十四節気では「小満」といい、陽気がよくなり、草木などの生物が次第に生長して生い茂るといふ意味で、西日本でははしり梅雨が現れる頃とされています。今年は平年並みだった「ゴールデンウィークを過ぎ、この所25度を超える夏日が続く今年の夏も暑くなりそうです。きこ爆弾低気圧や強烈な台風がいくつもやってくるのでしよう。異常気象?そんな夏が当たり前になってきました。

さて、先日の販売会議で各課から7月までの予測が出たのですが、これが今までにない良い予想が出てきました。例年、年の前半はあまり良くないスタートで、年末から年度末にかけてラストスパートで追い込むのが当社の常態でしたが珍しいことです。例年よりも大口の工事の受注が多いのが要因ですが、この状態が1年間続いてくれることを祈るばかりです。

トランプさんもうこれ以上何もしゃべらないで、お口チャックをお願いします。来秋には消費税がアップする予定です。今年のうちに餌をため込まなければなりません。

代表取締役 服部 蔵 郎

社員ブログ

● 時代の流れ ● 営業部 村田 拓也

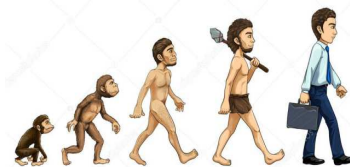
世の中が急速に変化していく中で、自然と「呼び名」が変わった物が沢山ある事を最近よく感じます。

幼少のころ「スーパーカーブーム」があったのですが、BMWは「ベンパー」と呼ばれていましたし、Tyrrell(ティレル)も「タイレル」でした。これを書いているパソコンの「Enter」キーも私が若いころは「Return」キーでした。スチュワーデスを「CA」ロスタイムを「アディショナルタイム」等々……

ビジネスの中でも若い時に拡大質問と限定質問を織り交ぜながら、お客様のニーズを引きだしなさいと習ったのですが、今はこの拡大質問を「オープンクエスチョン」限定質問を「クローズドクエスチョン」と呼ぶようです。

何時の間にか中身や意図する物は同じでも認知や呼称の変化があるのです。

歳を重ねると段々と腰が重たくなっていくのですが、昨今、働き方改革やIOT・AI・ECなど世の中が急速な変化をしていく中で地方の中小企業だからといって対岸の火事ではいけないのです。時代の流れについていかなければなりません。



本レターのご提供に付きまして、ご不要・ご迷惑という方に付きましては、その旨ご一報頂きたいと思っております。次回からの発送を中止させていただきます。

株式会社チキリ

静岡県駿東郡清水町卸団地73

Tel 055-971-9610 Fax 055-973-1534

E-mail gen@chikiri.com URL http://www.chikiri.com/